

福岡駅前地区移動等円滑化基本構想（素案） に対するご意見及び市の考え方について

1. 実施方法等

実施方法：パブリックコメント

実施期間：令和4年1月5日（火）から令和4年2月3日（木）

意見件数：2件（意見書提出1件、電子申請1件）

2. ご意見への対応・市の考え方

ご意見	<p><b>【項目】</b> 19 ページ「基本方針3 思いやりの心の醸成」</p> <p><b>【意見】</b> 移動等円滑基本構想において、安全で快適に暮らせる事が基本となると思いますが、そのためには、ハード面の整備充実に加え、基本方針3：思いやりの心の醸成も重要だと考えます。基本方針3が実現できるように、『心のバリアフリー』『ヘルプマーク』について、理解を深めてもらうための、普及・啓蒙活動をしていく必要があります。そのことが、高齢者・なんらかの障がいを持つ方（身体、知的、精神）への手助けにつながります。基本構想のソフト面が充実することにより、ハード面の環境整備と合わさることで、その場所を利用する皆さんにとり、真の意味でバリアフリー化されることが大切だと思います。</p>
対応・考え方	<p>本基本構想における教育啓発特定事業では、出前講座による障がい者理解促進及び啓発活動の推進、学齢期からの福祉教育の実施により、「心のバリアフリー」の用語認知度の向上や「ヘルプマーク」の認知向上を図ることとしています。</p>
関連する素案のページ数	27 ページ 6-4 教育啓発特定事業

ご意見	<p><b>【項目】</b> 7 ページ「2-2 福岡駅周辺の概況」</p> <p><b>【意見】</b> 福岡町は、あいの風とやま鉄道の福岡駅を中心に、市役所やにぎわい交流センター、Uホールなどが立地しているほか、スーパーや銀行などの日常生活に密着した施設も集約していることから、居住しやすい環境だと思っている。現在、駅前広場や歩道の整備などもされていることから、駅がにぎわいの核となり、若年層の居住者や公共交通利用者が増えることを期待している。</p>
対応・考え方	<p>福岡駅がにぎわいの核となるよう、引き続き、安全で快適なまちづくりに努め、本基本構想の基本理念である「歩行者にやさしいまち ふくおか」を実現してまいりたい。</p>
関連する素案のページ数	19 ページ 第4章 移動等円滑化に関する基本的な方針